

自覚を大切にした「共に創る学び」（第2年次）

～共生社会を生きるために必要な資質・能力を育てる
カリキュラム・マネジメントに向けて～

これからの社会に求められる子供の育成に向けて、「共に創る学び」を主題に設定し、他者と共にお互いの力を生かしながら課題を解決することを大切にしています。

共に創る学びを「他者とのかかわりの中で、共に考えを広げ深めながらよりよい考えを生み出し、共に学んだよさを自覚する学び」と考え、友達とお互いに考えを伝え合い集団や個人の考えを広げたり深めたりすることで、見方・考え方を働かせて学習でねらいたい資質・能力や学びの過程のよさを得ることができる学びを目指しています。

研究1年次である29年度は、「広がり」「深まり」を大切にした授業づくりを目指し、他者とのかかわりを「広がり」「深まり」の2つの視点でとらえ、それぞれの視点における指導方法の工夫に取り組みました。他者とのかかわりに焦点を当てた研究を進めるにつれて、子供が積極的に他者と考えを伝え合う姿、他者とじっくり考える姿が見られるようになりました。このような子供が、他者とのかかわりの中で得た学びと、学びを生み出した他者とのかかわり方への有用感を自覚することができれば、「主体的・対話的で深い学び」が充実し、他者とかかわる経験が豊かになり、共生社会で生きていくための他者とかかわる力の育成をより促すことができるのではないかと考えました。

研究2年次となる30年度は、子供が他者とのかかわりを通して学びのよさを自覚する姿を目指して、自覚を大切にした「共に創る学び」を主題に設定して授業づくりを進めています。